

組付要領書及び部品表

 **Takakita**

ブランドキャスト 用
電動シャッターキット

BS-D-2

適応機種 BS5310SS
BS5310TS
BS5310SW
BS7310SS
BS7310TS
BS7310SW



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンドキャスト用電動シャッターキット**の組付要領について記載してあります。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。また、ご使用前にはブレンドキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

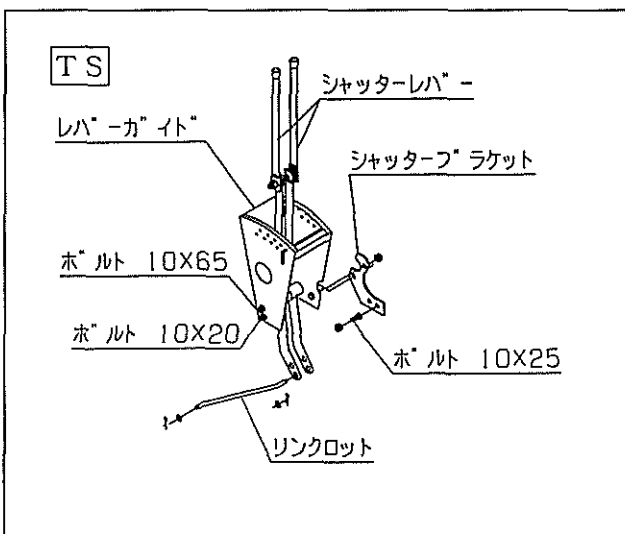
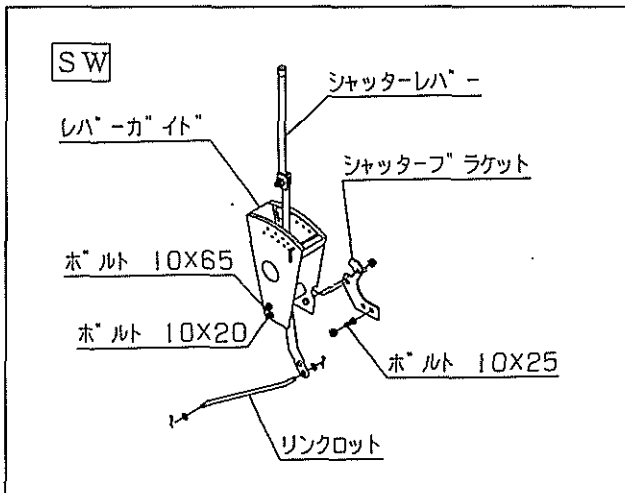
電動シャッターキットの組付け

このたびはブレンドキャスト用電動シャッターキットをお買い上げいただき、ありがとうございました。組付け前には、必ずこの組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

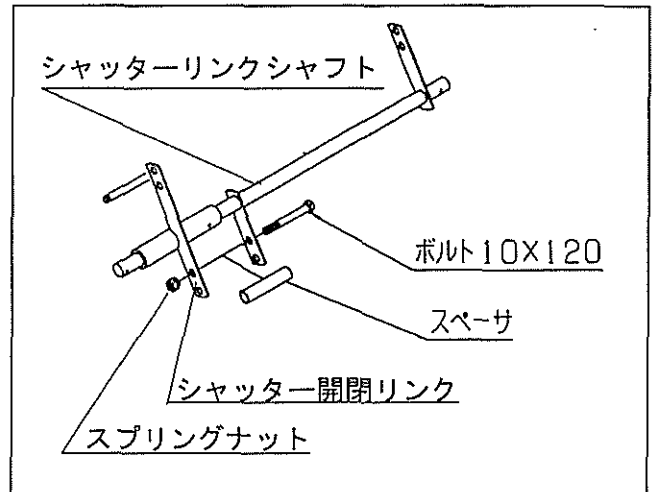
●開梱されましたら、組付前に部品表の部品が全て含まれているかご確認の上、組付けを行ってください。

◆ 組付け手順

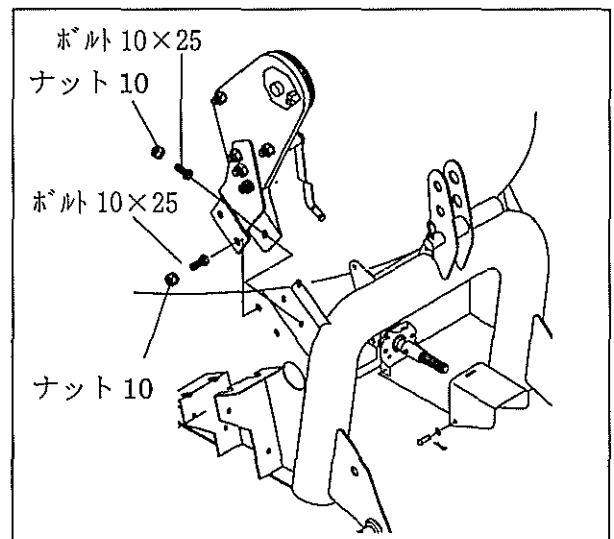
- [1] 本体よりレバーガイド、シャッターレバーを固定しているボルト10×65、10×20（3ヶ所）を外し、レバーガイド、シャッターレバーを取り外してください。
- ・リンクロットのRピンを抜きリンクロットを取り外してください。
 - ・シャッターブラケットを固定しているボルト10×25を取り外し、シャッターブラケットを取り外してください。



TSの場合はシャッターリンクシャフトとシャッター開閉リンクをスペーサーとボルト10×120、スプリングナット10で固定してください。

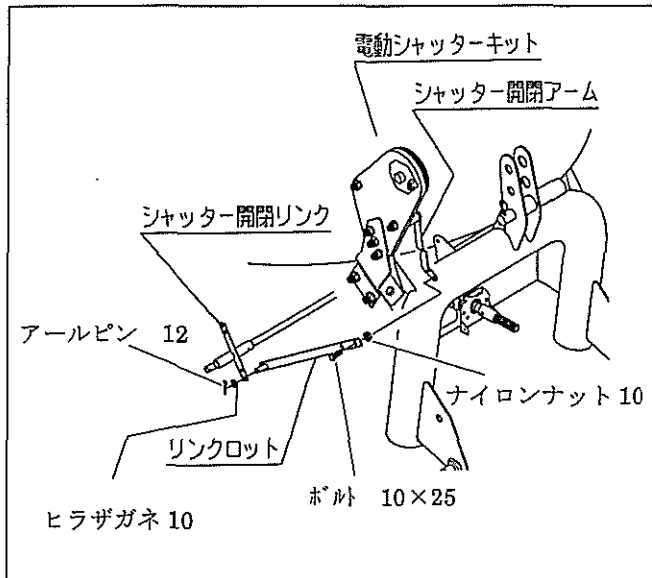


- [2] 電動シャッターキットを本体フレームにボルト10×25（4ヶ所）、スプリングナット10（4ヶ所）で仮組してください。



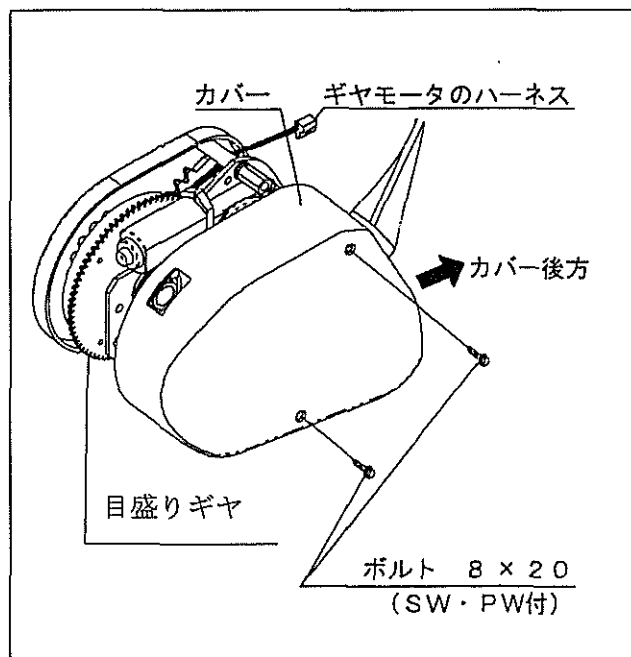
- [3] リンクロットをシャッター開閉アームにボルト10×25、ナイロンナット10で組付けてください。ナイロンナットの締付はリンクロットがスムーズに回転できる程度としてください。次にリンクロットを本体のシャッター開閉リンク下側の穴へ組付けしヒラザガネ10、Rピン12で固定してください。

電動シャッターキットの組付け



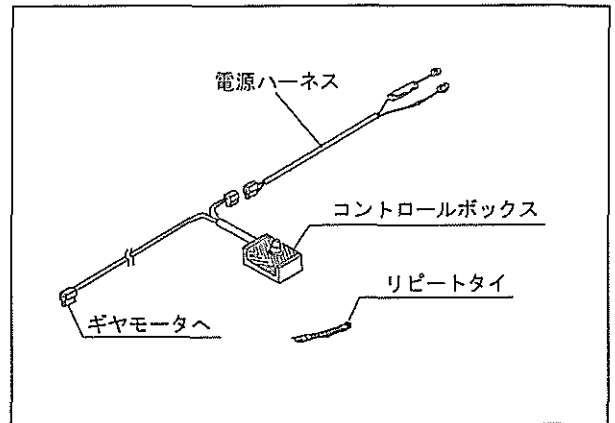
[4] 仮組したボルトを固定してください。

[5] ギヤモータのハーネスを減速ギヤ、目盛ギヤにかみ込まないように、カバー後方に持っていき、カバーをボルト 8×20 で組付けてください。



[6] 電源ハーネスをトラクタのバッテリーと

接続し、コントロールボックスとギヤモータのハーネスを接続してください。
 [白色線はバッテリーの (+) 極へ、
 黒色線はバッテリーの (-) 極へ
 それぞれ接続してください。]



警告

接続の順序は (+) 側から行ってください。
 また、取り外すときは (-) 側から行って
 ください。
 逆にすると火花が飛び危険です。

注意

接続できるバッテリーの電圧は、12Vで
 す。24Vのバッテリーには接続しないで
 ください。誤って接続すると、コントロ
 ールボックス及びギヤモータが破損します。

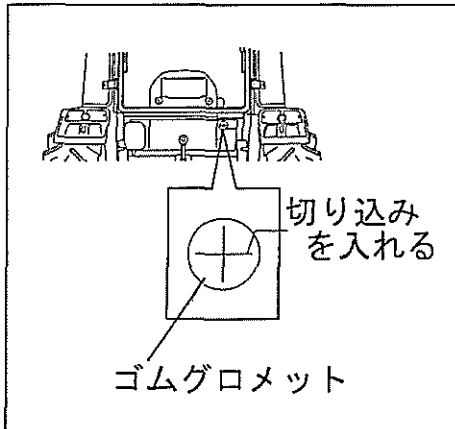
[7] コントロールボックスのハーネスを、ト
 ラクタの3点リンケージの上下動に対
 応できるよう十分に余裕をもたせ、回転
 部等に干渉しないようリピータイで
 本機に取付けてください。

注意

使用前に各部の取付けに誤りがないか
 確認してください。
 ボルト、ナット等が確実に締め付けられ
 ているか必ず確認してください。

電動シャッターキットの組付け

◆トラクタへのハーネスの通しかたについて
 キャビン付トラクタでハーネスをキャビン内に引き込む場合、キャビン後にゴムグロメットがついている場合は、ゴムグロメットにカッターナイフで切り込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。



警告

ゴムグロメットを外して通すと、電源コードに傷がつき、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

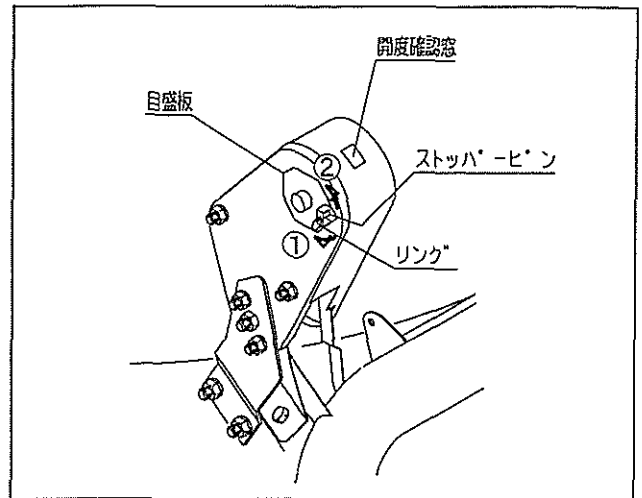
◆シャッター-開度の開閉方法

[1] 目盛板のリングを①手前に引っ張りながら、②希望のシャッター開度まで回し、リングを離してストッパーピンを入れてください。

注意

目盛板の操作はシャッターが全閉の状態のときに行ってください。

シャッターが開いている時に目盛板を操作しますと希望の開度までシャッターが動かない場合があります。



[2] コントロールボックスのスイッチを「開」側へ倒しますと、シャッターが開きます。

注意

このとき、開度確認窓より、現在の開度を確認し、希望の開度になり、開度目盛の動きが止まるまで、スイッチを押しつづけてください。

途中でスイッチを放しますと、ギヤモータの動きが停止し、開度確認窓の開度目盛の開度しかシャッターが開かず、ご希望の散布量の開度までシャッターが開きません。

[3] 散布作業を停止または終了するときはスイッチを「閉」側に倒します。

このときも、シャッターが確実に閉まるまでスイッチを閉側に押しつづけてください。

注意

シャッターの開・閉が終われば、スイッチから手をはなしてください。

スイッチを押したまま保持され、ギヤモータがロックされた状態が続きますと、モーター内のブレーカが落ちます。

ブレーカの復帰には数分から数時間かかる場合があります。

注意

可動部には、手などを近づけないでください。

挟まれてケガをする恐れがあります。

電動シャッターキットの組付け

◆シャッター開度の調整方法

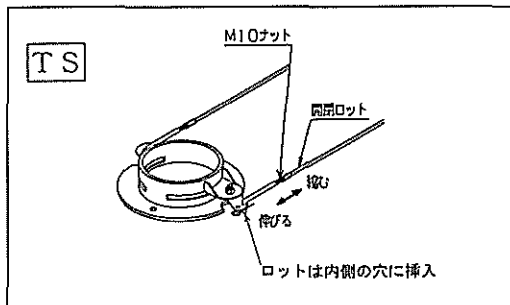
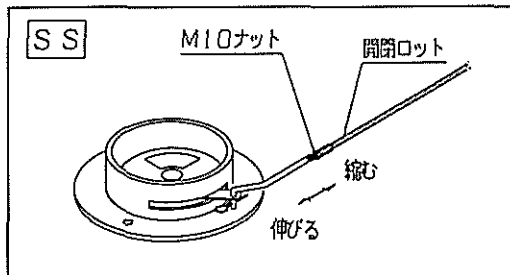
開度確認窓の表示が「閉」の時にシャッターが全閉になっていることを確認してください。

また、開度確認窓の開度表示が「開」の時にシャッターが全開になっていることを確認してください。

全閉にならない場合は、開閉ロットを短くし、全開にならない場合は、開閉ロットを伸ばしてください。

注意

開閉ロットを調整した後は必ず、全閉・全開を再度確認してください。



◆非常時のシャッター開閉方法

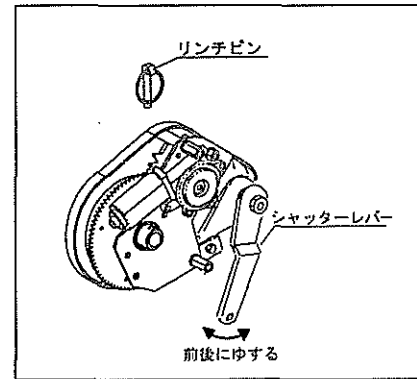
本機には何らかの原因で、ギヤモータが動かなくなった場合に、手動でシャッターの開閉が出来るようになっています。以下の方法で、シャッターの開閉を行ってください。

- [1] コントロールボックスの電源コネクタを抜き、コントロールボックスに電気が流れていないことを確認し、カバーを取り外してください。

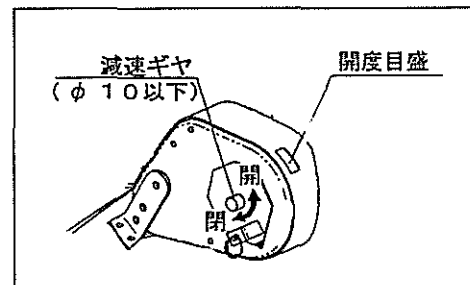
警告

カバーの取り外しは必ずトラクタのエンジンを止めてから行ってください。
これを怠ると傷害の発生のおそれがあります。

- [2] リンチピンを取り外してください。硬くて取れない場合は、シャッターレバーを前後にゆすりながら外すと、取りやすくなります。



- [3] 減速ギヤの穴にφ10以下の丸棒を差し込み、回すことでシャッターの開閉ができます。ただしこのとき、開度目盛の数値は動きません。



◆作業終了後の格納

作業終了後は、スイッチボックスをギヤモータから切り離し、屋内の雨のかからない場所に保管してください。

警告

取扱いの前にブレードキャスタ本体の取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。